

第8回

札幌機工整備株式会社

ロータリ除雪車をはじめとする道路維持車両は、私たちが安全に冬道を通行するために欠かせません。今回は、工栄町に本社と工場があり、道路維持車両の販売・整備を行う札幌機工整備株式会社の堀田社長にお話を伺いました。



江別市

後藤 好人 市長

Yoshihito Goto

札幌機工整備株式会社

堀田 一雄 社長

Kazuo Horita

時代の変化にあわせた事業

堀田 創業当時の昭和 40 年は札幌市北区に工場があり、夏季に使用する道路維持車両の整備が始まりでした。その後、昭和 48 年に江別市に工場の一部を移転。現在は本社も江別に移転しました。整備対象は、除雪車両がメインです。

後藤 会社が大きくなった時期は、ちょうど社会インフラの整備が進んだ時期ですね。道路などの整備に使う車両が増え、その車両の整備が必要になり、事業が拡大していったのですね。

技術の導入と継承

後藤 先ほど見せていただいたロータリ除雪車の整備も最後は人の手が必要というお話でした。

堀田 当社の機械整備は自動化することが難しく、人の手作業がほとんどです。ロータリ除雪車もパソコンを使って整備をしますが、雪を削り取る回転装置の羽根の調整は、人の手で確認します。このバランスが取れていないと、精度の高い除排雪ができないので、熟練の技術が要求されます。

後藤 最後の最後に人の手作業で行っているところが、安全で安心の品質につながっているのですね。先ほど運転席にも座らせていただきましたが、運転席から死角になる部分がありました。

堀田 運転席から見えない所があると、巻き込み事故の危



1



2



3

1. さまざまな種類の道路維持車両を整備 2. 雪を削り取る回転装置の羽根の調整 3. 除雪車に搭乗して死角があることを確認

険がありますので、AI カメラを搭載し、人が近づくとアラートが出る装置を取り付けました。AI などの新しい技術を取り入れながら、ベテランの技術の継承も行っています。

市民の生活を守る

後藤 多くの方に江別に住んでもらうためには、「安全で安心な暮らしがある」というのが基本になります。どれだけ便利なところでも、毎年雪で閉ざされて、生活ができなくなるようでは選んでももらえません。

堀田 冬の地域の困り事を少しでも解決できればと思い、現在は、雪害支援車両の開発を進めたり、AI 技術を活用した安全装置の開発などを手掛けたりしています。これらをカタチにしていくことで、地元企業の発展と人材確保、市の発展につながれば良いと考えています。

後藤 ありがとうございます。我々も皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。

企業情報 札幌機工整備株式会社

所在地 工栄町 26-8 従業員数 9 名 (R6.7 現在)

主な事業 道路維持車両の販売、整備修理、および部品販売 (ショベルローダー、ロータリ除雪車など)

(詳細) 企業立地課 ☎ 381-1087

TOP 対談の詳細は市 HP で公開中です。



キッチン・トイレなどのハウスクリーニング

大掃除の事なら 10 月中の施工の方は

早割

女性スタッフがお伺いします!

TMおそうじ隊

キャンペーン受付中 詳しくは TEL

株式会社 TM 実業

JITSUGYO 江別市 錦町 13-16 TMビル

384-6099

広告

住まいのことなら何でもおまかせ!

見積り無料!

増改築 塗装 金属・窯業系サイディング 板金 水廻り

株式会社 **αアルファリフォーム** アルファ塗工部

0120-10-3232 alpha-reform.com

〒069-0824 江別市東野幌本町 19-22

まずはご相談ください!!

広告